

平成26年2月13日

杉並区議会議長  
大泉 時男 様

道路交通対策特別委員会  
委員長 大槻 城一

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

平成25年12月3日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 東京外かく環状道路について

東京外かく環状道路について、国土交通省、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社の3者は、大深度地下の公共的使用に関する特別措置法に基づき、平成25年11月8日に大深度地下の使用認可申請書を国土交通大臣に提出したとのこと。これに伴い、区は大深度地下の使用認可申請書の公告縦覧を、上記法令に基づき行うとのこと。

公告縦覧は、平成25年12月5日から12月19日の間、都市整備部都市計画課で行い、この縦覧期間中においては、利害関係人が都知事宛てに事業の認可について意見書を提出できることとなっているとのこと。

##### (2) 放射第5号線について

現在、上下2車線で暫定供用している高井戸西区間を完成形の本線4車線に改良整備する事業について、都は平成25年11月6日と11月10日の2日間、沿線地域の住民を対象に説明会を開催したとのこと。

この説明会は、昭和51年に、日本道路公団、東京都、杉並区、杉並区教育委員会、富士見丘小学校のPTA会長による5者協議会において確認された5者協定に基づき、すでに7月と8月に開催されている富士見丘小学校PTAを対象とした説

明会に続くもので、11月6日は約80名、11月10日は約70名の出席があったとのこと。

説明会では事業の概要や概略設計の説明があり、出席者からは排気ガスや騒音などの環境対策についての質問や交通渋滞や交差点構造などについての質問があったとのこと。

(3) 第30回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施結果について

このキャンペーンは自転車放置防止等の啓発のため、昭和59年から毎年10月下旬に都内全域で開催しているもので、今回は平成25年10月22日から31日の期間中、7日間7駅での実施を計画したが、そのうちの3日が雨天のため中止となり、結果、4日間4駅での実施となったとのこと。

実施内容は、地元商店会、放置防止協力員、小中学校の児童生徒、鉄道事業者、バス事業者、その他団体の協力のもと、主に買い物時間帯を中心にティッシュやチラシを配布し、自転車の放置防止や走行マナーの向上の呼びかけと自転車駐車場の案内などを行ったとのこと。参加者は合計で404名とのこと。

以上のとおり、3件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上